

始



木願寺聖人親鸞傳

三

318
4
92

涌去志興行小 もて聖意

廢退止是空師の所為なり

々々をり此小罪科を執へ

此より南小此願す情節なり

願化身去支類六云福以聖道法

行證久廢津去真宗證之今盡

然法寺釋門昏教方不知其假門

戸洛都儒林迷行方無難邪道

致斯興福寺學法差違

太上天皇 諱尊成号 今上 諱為仁号

聖曆永元丁卯歲仲春上旬

戸洛都儒林迷行芳無難邪道

茲斯興福寺學造奏達

太上天皇

諱尊成号
後鳥羽院
今上
諱為仁号
去沙門院

聖曆永元丁卯歲仲春上旬庚

主上陛下持法遠義激忿結惡回

茲去宗興隆太祖源空法師并徒

數輩不考罪科猥坐死罪或改僧

儀賜姓名獻遠流予具一也余者

已非僧北信是故以亮字為姓空師

并弟子等坐諸方邊州約五十年

之居備云空聖人罪名藤井元春

配所去左園播磨密聖人罪名藤

井善信配所越信園園有此外乃門

徒死罪源能乃此畧之皇帝

諱字威号
法後院宣代遠曆辛未歲子月中

旬第七日畏侍中納六範亮卿上

て勅免此時聖人者此とや亮

字以書く卷別一語ふ陛下

般感なくたし侍臣の御子も磨

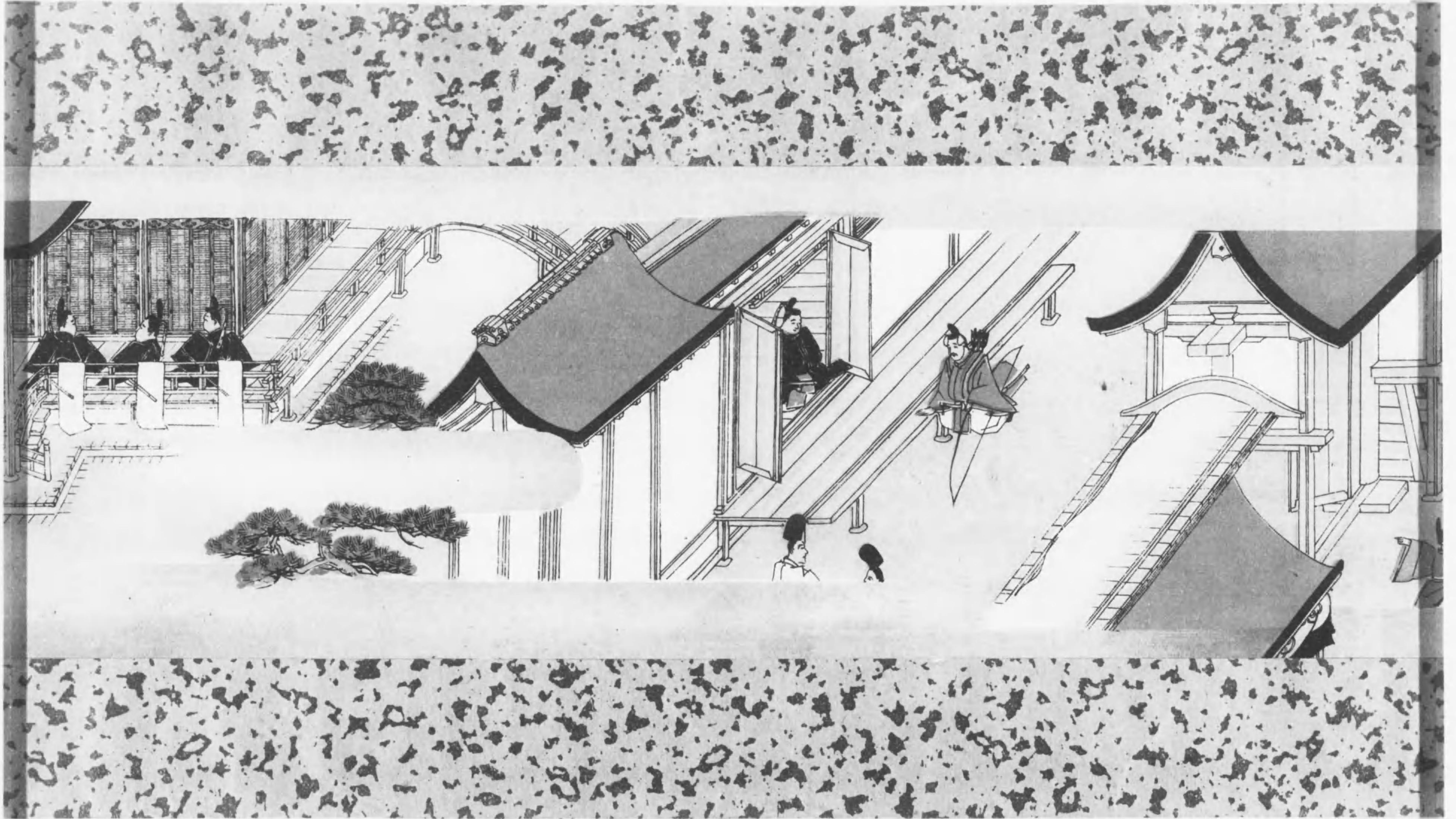
養と勅免あり此いふとしかた

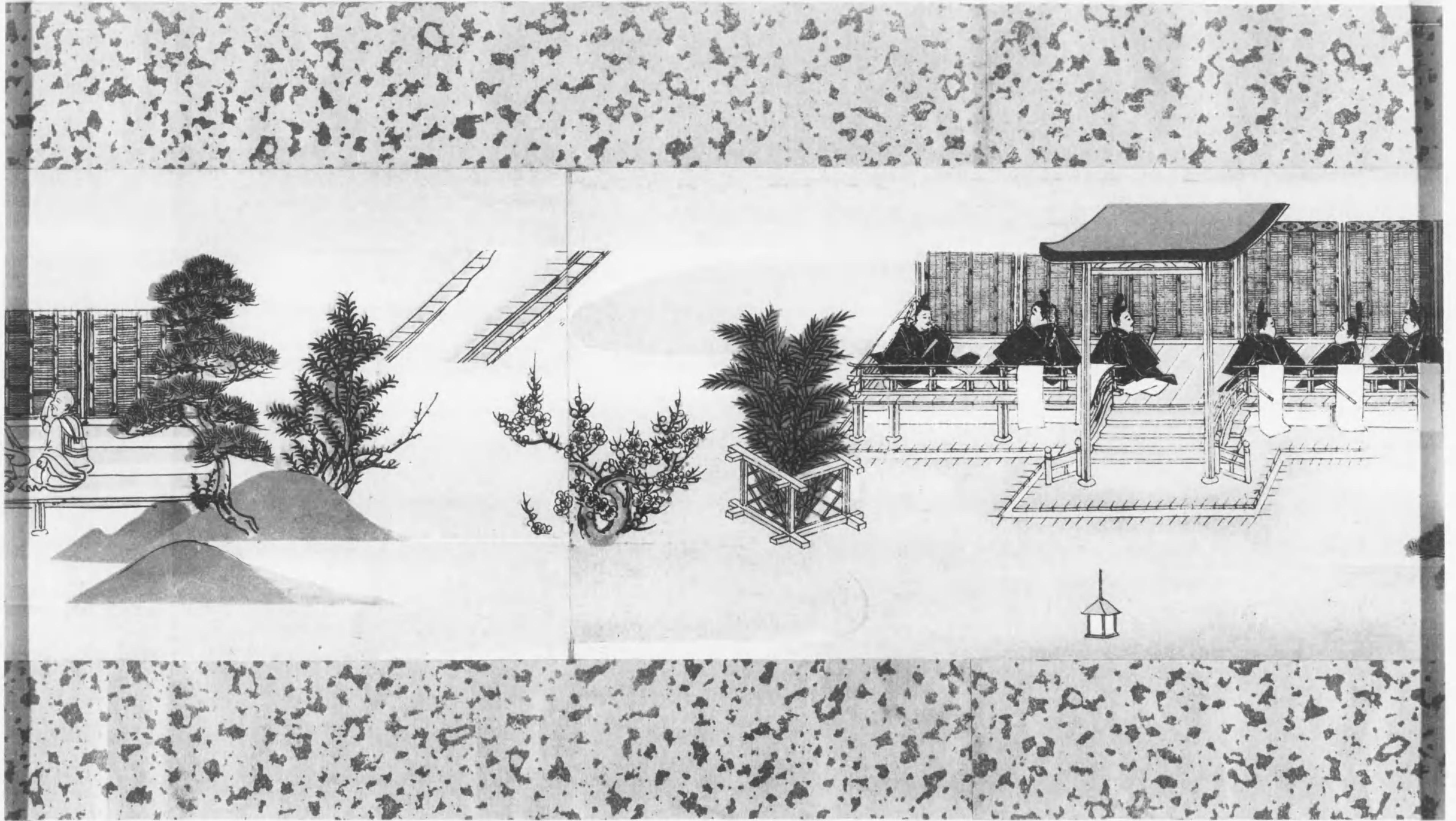
こ小化とがさしあしをりた

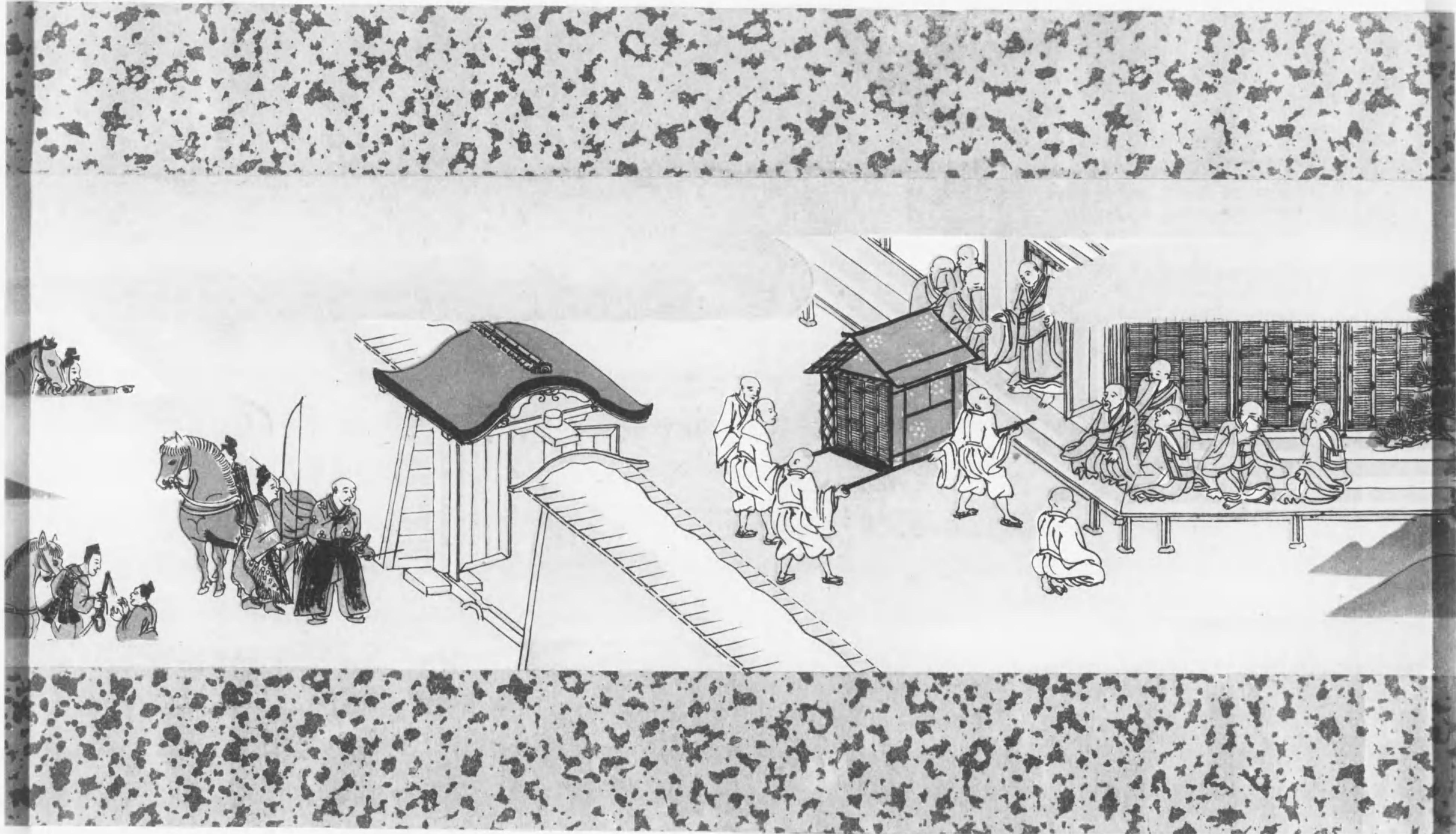
くはく空園とさしあしをりた

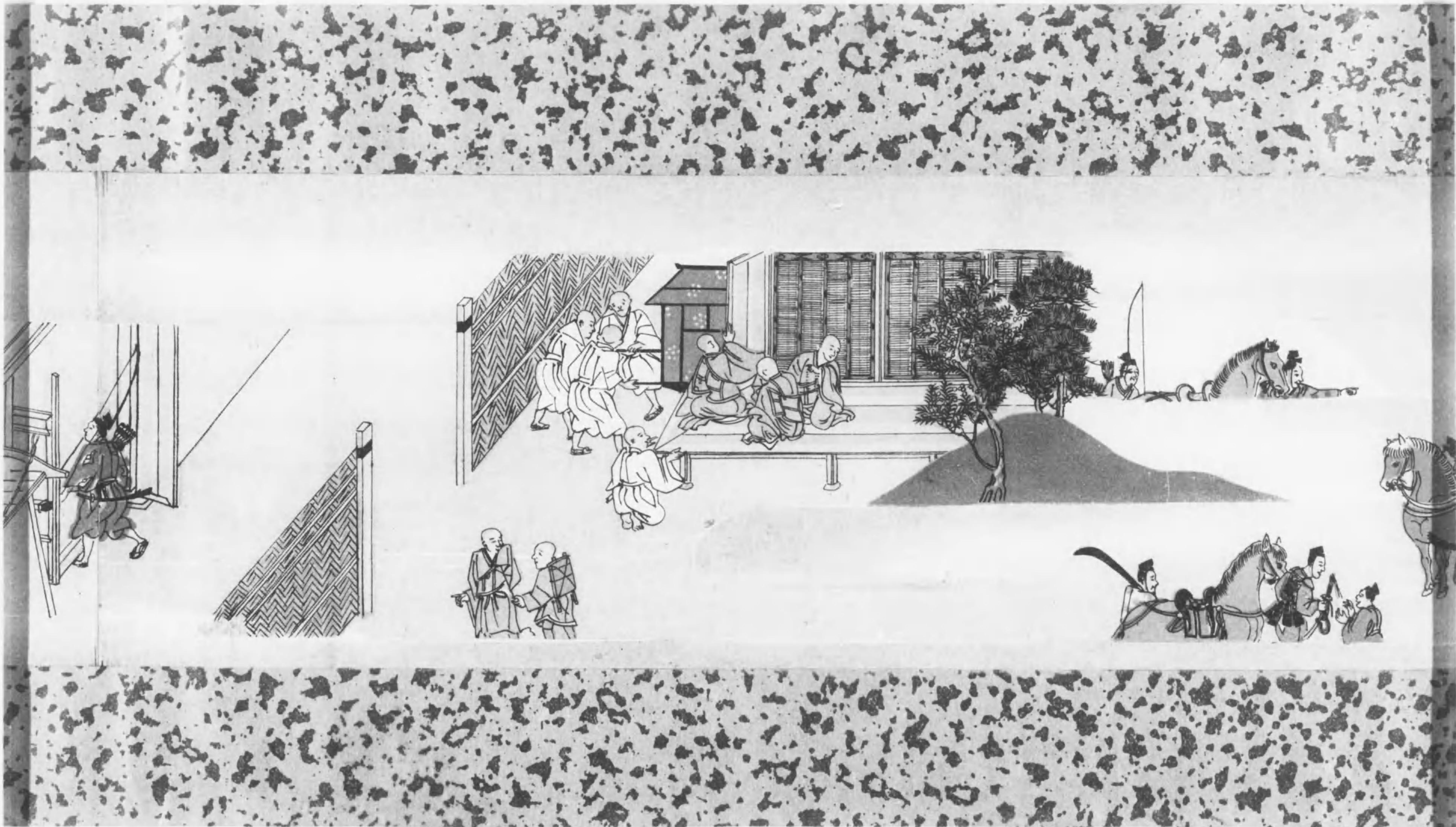


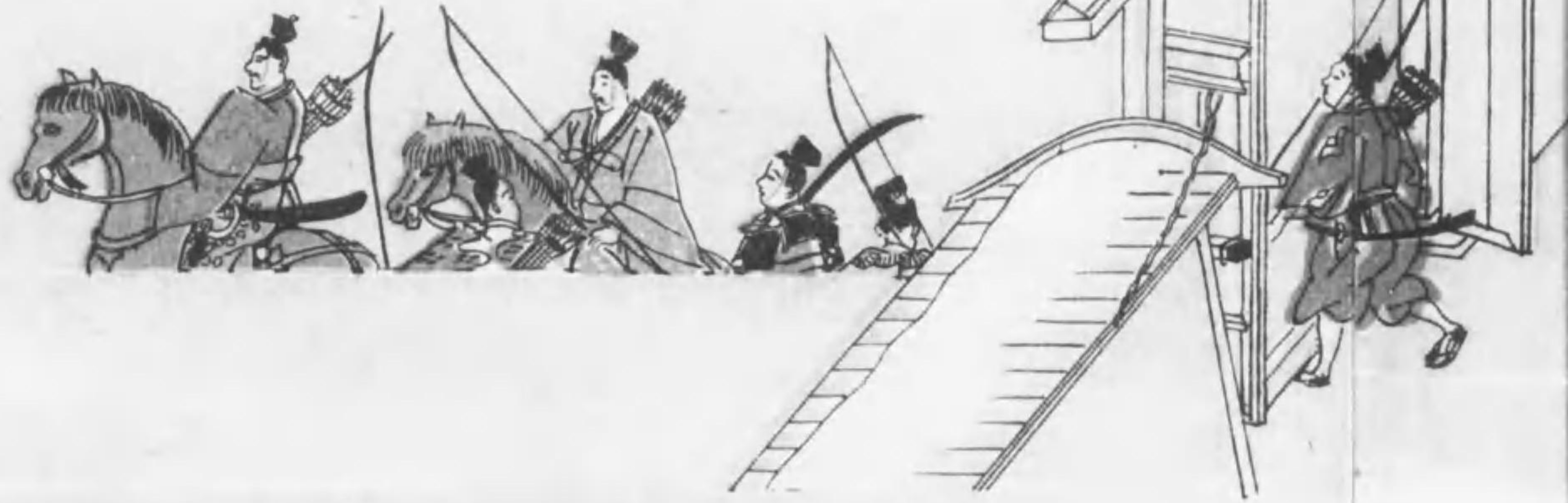












聖人越後國一也常陸國小城之

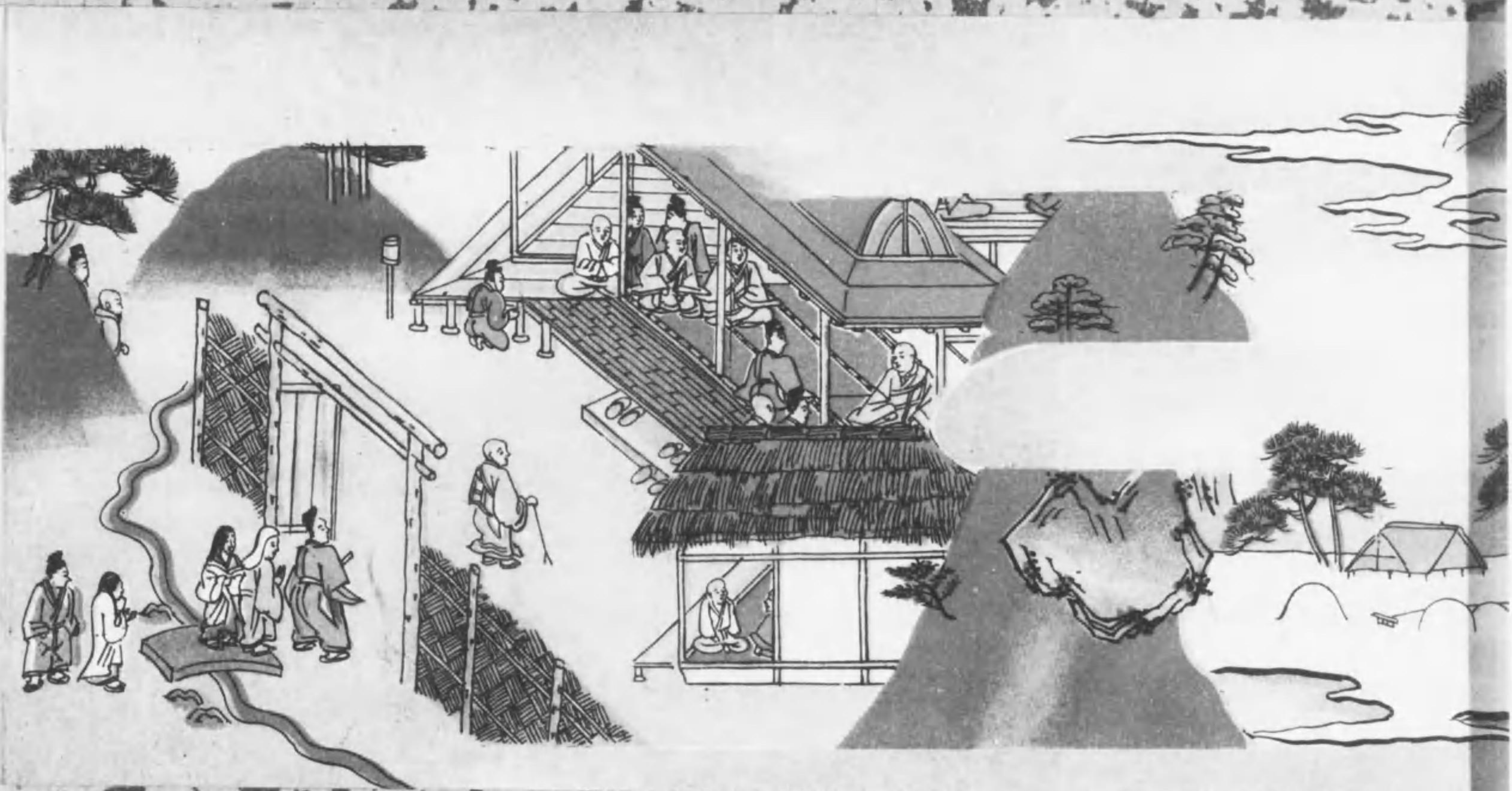
並開郡福田郷也一ノ所ノ陸后

志如ノ熊揚ノ古ノ山ノ名道信

久成是ノ子邊戸ノ用也ノ八

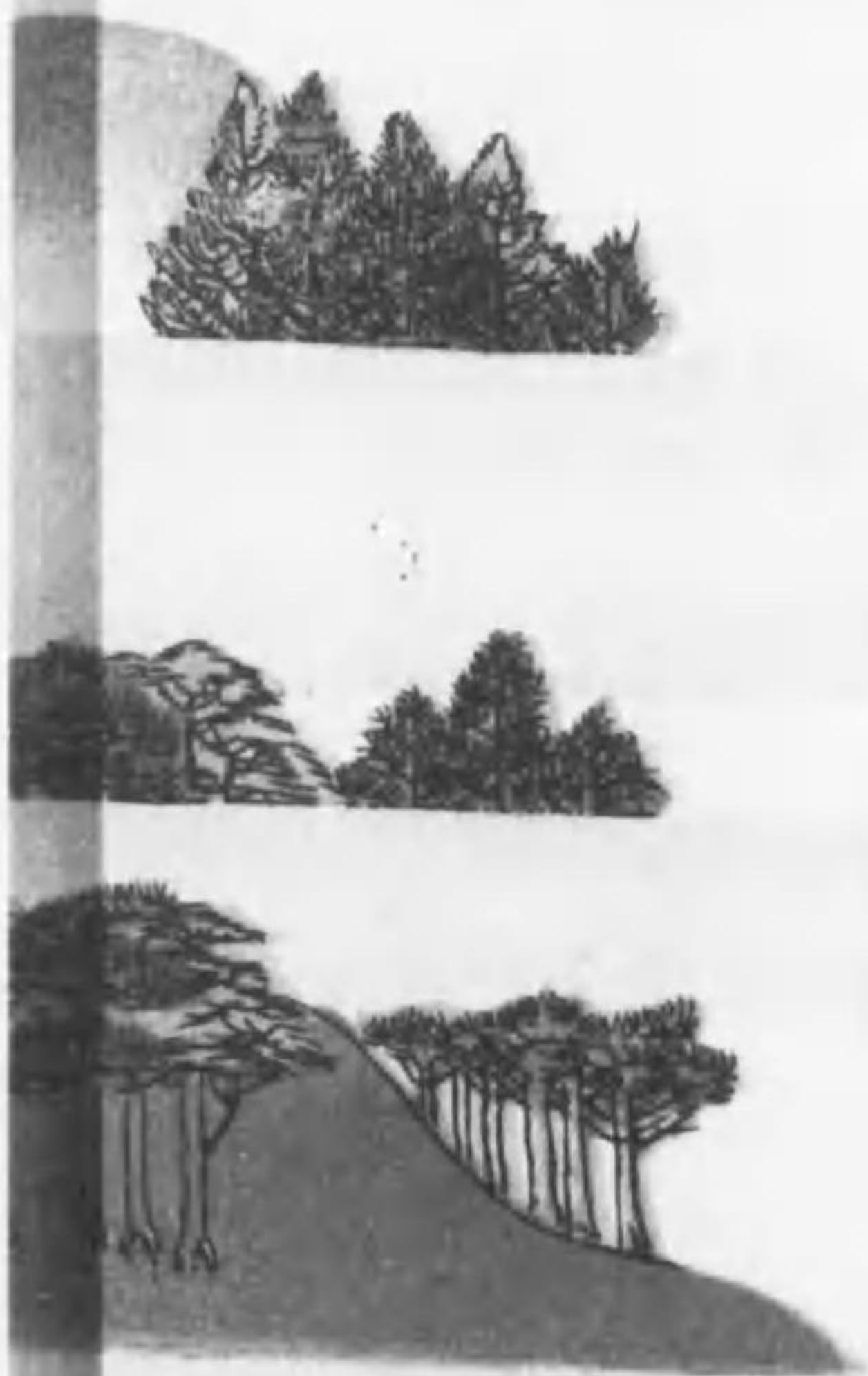
聖人越後國一也昔陸奥小坂之
 並間郡福田郷也一山所より陸奥
 志保へ出橋と云ふは是れ志保道宿
 跡故を以て子達戸と用也一八
 し貴賤僧と潘佛法弘通の功績
 一に以て於一旅生利量此宿を
 与らふは満是す此町聖人被治
 云救世の菩薩の昔今を受へ住の
 夢改今と宿言をわは

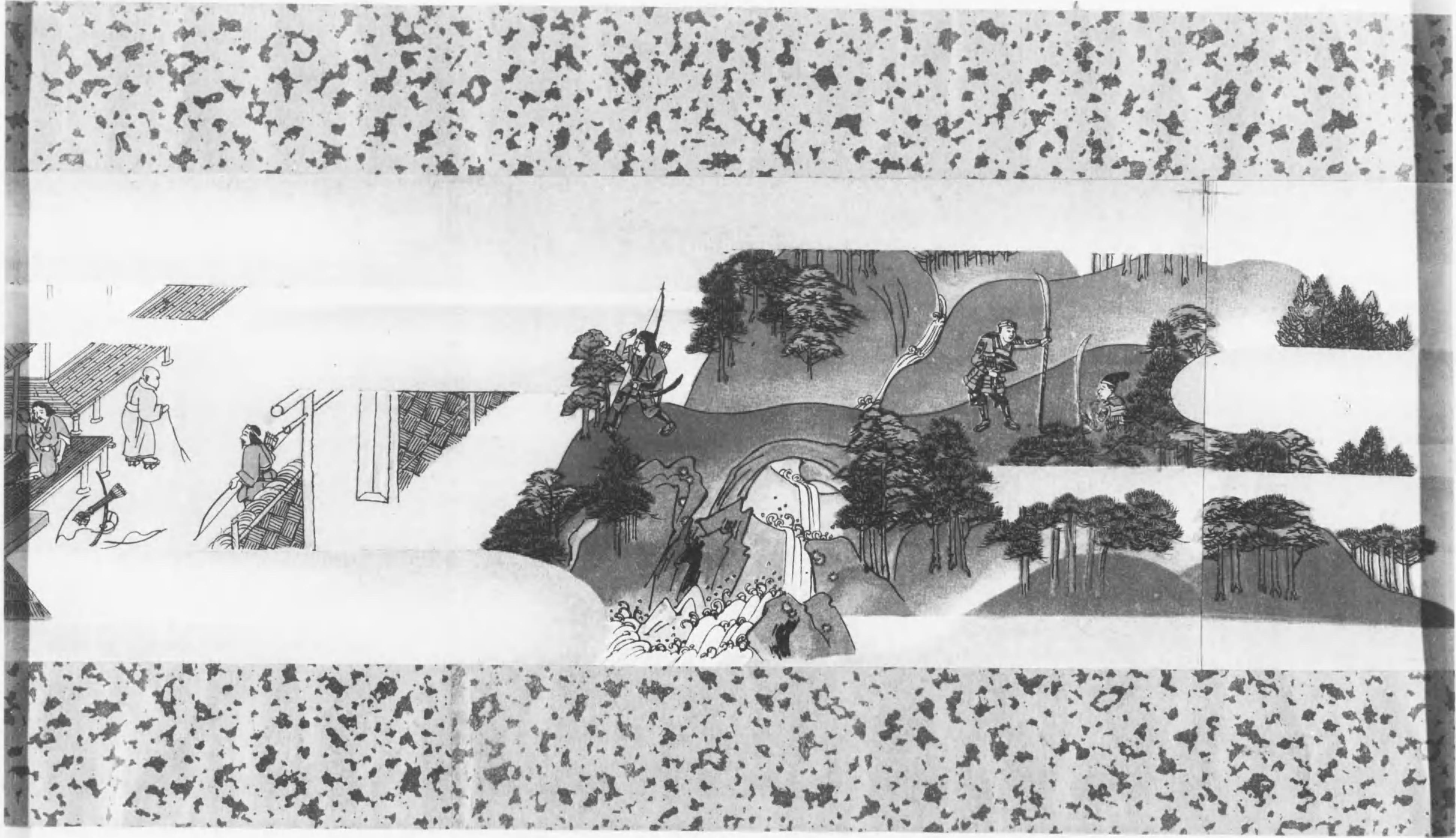




聖人常隆國一して一向専修の義
 とひろ見そふ少く相り次疑訪
 此輩はともや明く信願の珠をば
 一ふ一人の信命ありとく動は
 佛法小惡をなげけ結句客心様
 て聖人と晴うらひ多てふつれ
 聖人板敷山にり深山にけり
 法及しまひ多ふ彼山にて

一一人の信 前 あれく動は
佛法小惡をなすは、結句客心と稱
て聖人と時、うらむ多きとつれ
聖人板敷山に、上流山に、住
法及、さういふ多き彼山にて
度、相待、い、愈々、と、更、其、師、を
さげ、と、つ、危、く、確、此、春、老、を、棄、す
新、り、願、持、つ、お、し、ひ、あ、り、何
聖人小謁せしと思ふ、さうは、其
禪室に行て、舟中に、聖人を、考
く、お、ま、さ、す、い、ひ、や、り、物、言、解、り
む、と、む、て、悔、ひ、つ、り、苦、心、忽、滅、滅
し、く、割、後、悔、の、後、怒、り、の、さ、し、
や、あ、げ、く、あ、り、あ、り、有、れ、あ、り、
目、来、れ、客、對、と、述、せ、や、い、句、も
聖人又、お、と、誘、ひ、り、ま、り、を、此、と
い、ふ、さ、り、前、に、さ、り、刀、杖、と、も、
頭、巾、を、や、り、栴、衣、と、あ、り、つ、く
佛、及、し、ゆ、し、け、終、し、素、懐、と、を
地、不、思、議、ゆ、り、し、事、也、す、を、い、ち
的、注、房、に、れ、な、り、聖、人、に、れ、を、つ、け
け、し、身、ハ





終

